

## 森永乳業の育児ニュース『エンゼル 110 番レポート第 80 号』

### 「2017 年 年間統計」

森永乳業は、時代とともに変化する母親像の理解に役立つことを願い、1993年4月から「エンゼル 110 番レポート」を発行しております。この「エンゼル 110 番レポート」は、育児相談窓口「エンゼル 110 番」への相談内容から、毎回育児に関する傾向についてまとめています。

エンゼル 110 番は 1975 年 5 月に開設し、2018 年 5 月で満 43 年を迎えます。開設当時の 1970 年代は、いわゆる「団塊の世代」の出産期が継続しており、大家族から核家族へと育児をめぐる環境が大きく変化した時代でした。そこで森永乳業が「子育て奮闘中のママたちのために何かお役に立てることはないか」と考え、育児用ミルクメーカー初の育児相談窓口として開設したのが「エンゼル 110 番」です。

今までにお受けした相談件数は 94 万件(2017 年 7 月現在)にのびります。相談者は主にママですが、最近ではパパやおじいちゃん、おばあちゃんにも広く利用していただいています。2014 年からフリーダイヤルで国内の相談を受けていますが、海外から国際電話をいただくこともあります。

今回は、2017 年の年間統計をもとに、昨年の傾向をレポートいたします。

#### 【主な統計結果】

- 2017 年総相談件数は 16,037 件、1 ヶ月平均は 1,336 件
- 出生数は減少するが、相談件数は前年比 102.3%と増加
- 認知経路は「インターネットで検索」が 33.6%と大きく増加
- 低月齢の子どもの相談数が減り、1 歳以上が増加
- 相談者自身に関することの相談が増加

#### ◇エンゼル 110 番 電話相談運営概要◇

相談対象	妊娠中～小学校就学前まで
相談員数	22 名(保健師、管理栄養士、心理相談員など)
ウェブサイト	<a href="http://www.angel110.jp/">http://www.angel110.jp/</a>

育児に関する無料電話相談「森永乳業エンゼル 110 番」フリーダイヤル 0800-5555-110

※受付時間:月～土曜日(日曜、祝日除く)、10～14 時

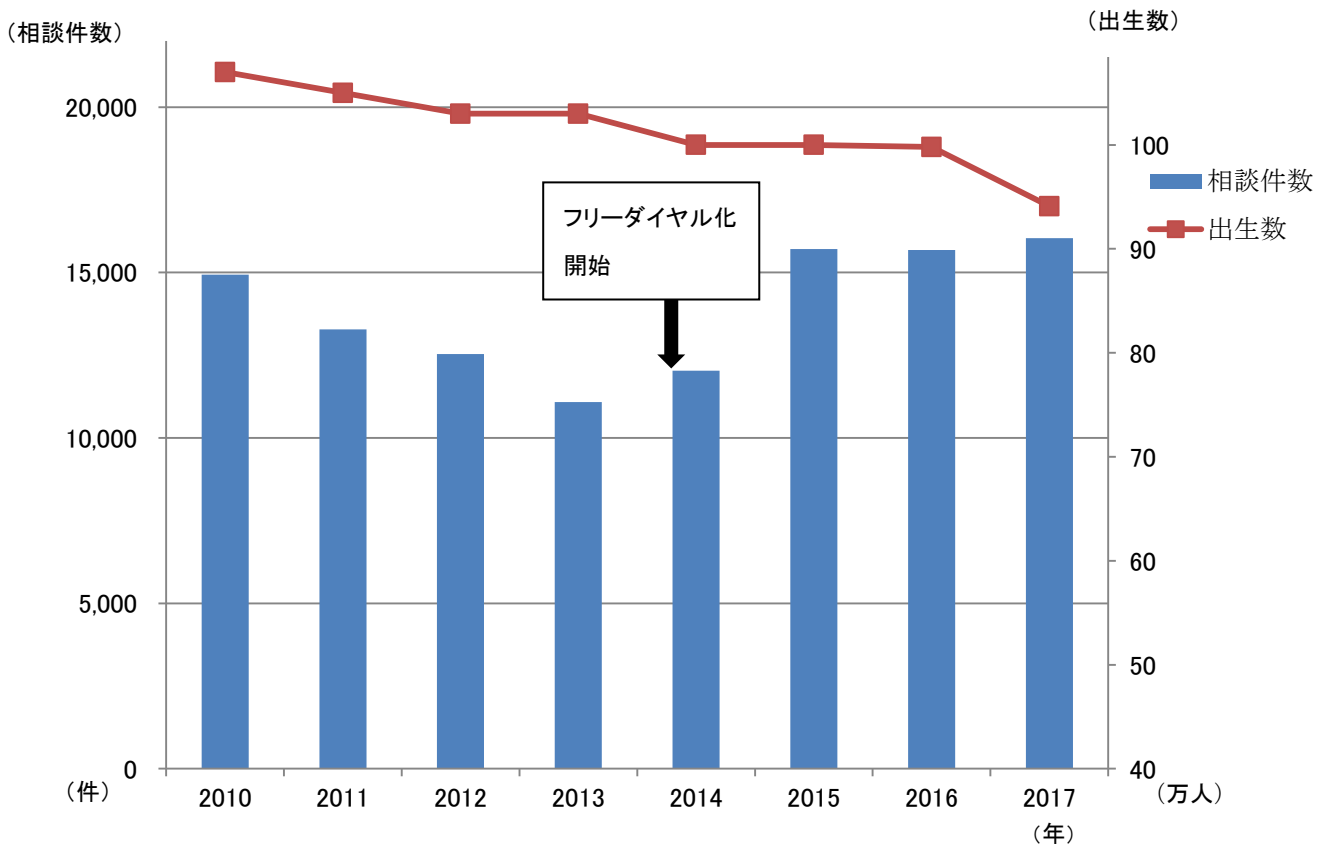
## エンゼル 110 番レポート VOL.80

### 今回のテーマ「2017年 年間統計」

#### 2017年出生数は減少するが、相談件数は前年比 102.3%で増加

2017年エンゼル 110 番で受けた相談件数は 16,037 件です。1 ヶ月平均では 1336 件、1 日当たりでは 55 件でした。出生数は厚生労働省人口動態統計(推計)によると、2016年に引き続き 100 万人を割り、94 万人とさらに減少しましたが、相談件数は前年比 102.3%と増加しました(図1)。

図 1 相談件数と出生数(2010年～2017年)

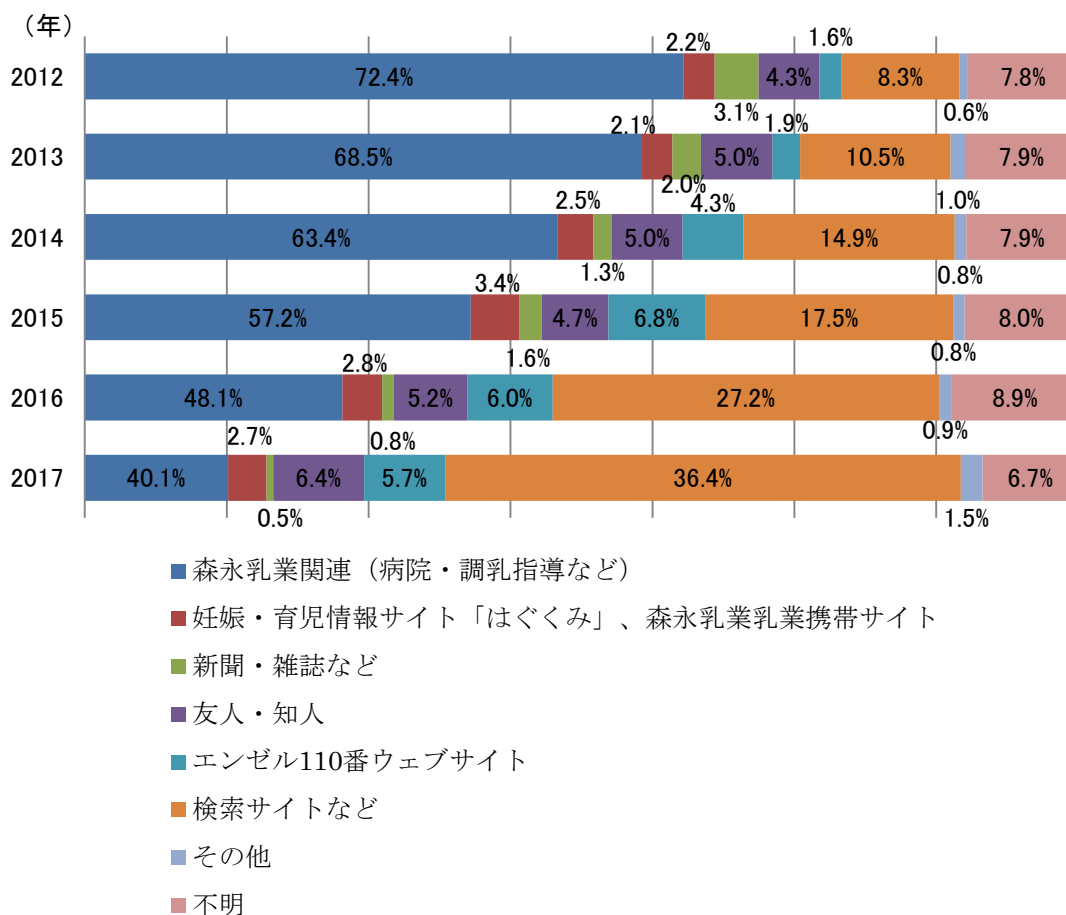


#### インターネットで「無料育児相談」と検索

エンゼル 110 番の認知経路としては、2012年に 70%を超えていた、パンフレットや産院で配布している「わたしの育児日記」などを合わせた森永乳業関連(病院・調乳指導)が 40.1%と減少し、妊娠・育児情報サイト「はぐくみ」、森永乳業携帯サイトを加えても 42.8%でした。反対に「検索サイトなど」は 33.6%と大きく増加しました(図2)。相談時に認知経路を尋ねると、「インターネットで『無料育児相談』と

検索したら、トップに出てきました」という声が多く聞かれました。

図 2 認知経路(2012～2017年)



スマートフォンの普及でインターネット検索がより手軽になり、「子どもの様子をインターネットで調べて不安になった」というご相談が多くなっています。「笑わない。目が合わない。泣かない。病気ではないか？ネットで調べて心配が募る(2ヵ月)」、「言葉が出ない。指差しをしない、ネットの情報を見て心配になり、1週間眠れなくなった(1歳6ヵ月 パパより)」といった発達に関する相談は、定番となっています。「便秘5日目。受診の目安は何日目？ネットで迷子になってしまった(1ヵ月)」というママもいました。インターネットの情報は玉石混交で選び取るのが難しいことをお伝えし、保健センターや小児科などでお子さんを直接診ていただいて相談されることをおすすめしています。

### ママの年齢は30歳代が増加

相談者は97%がママで、30歳代が55.8%と半数を超えています。(図3、4)

図3 相談者の属性

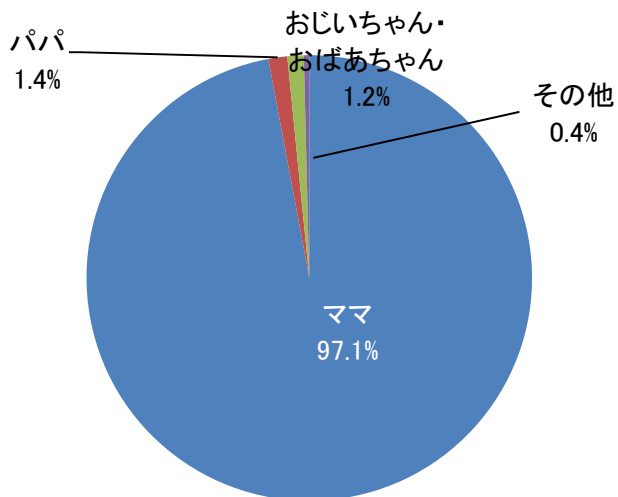
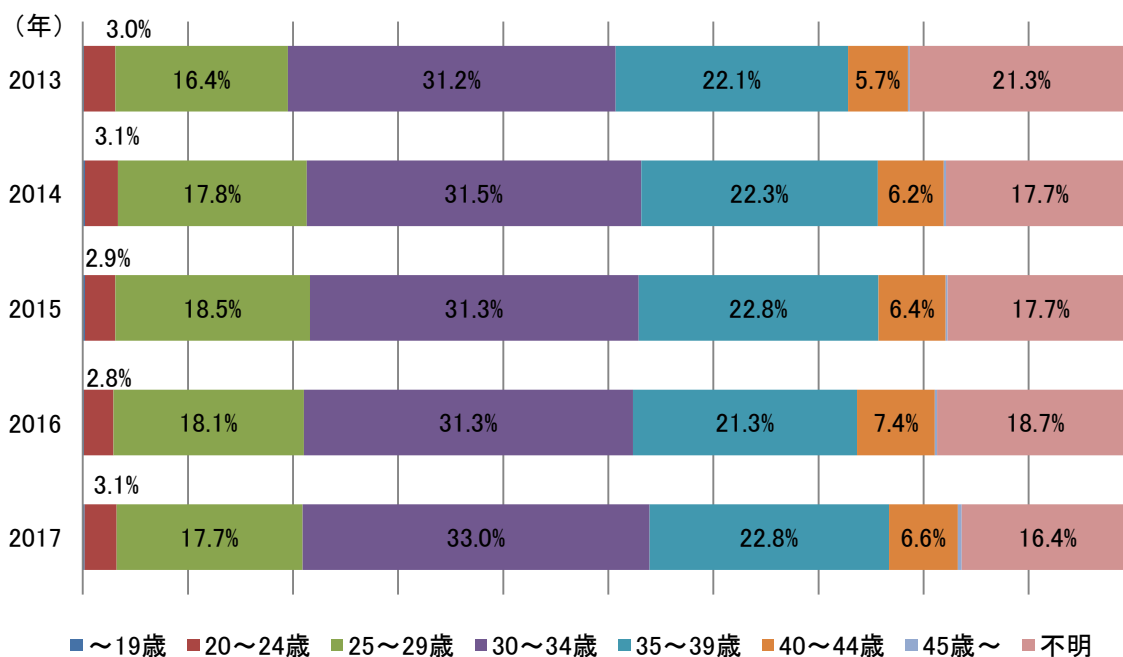


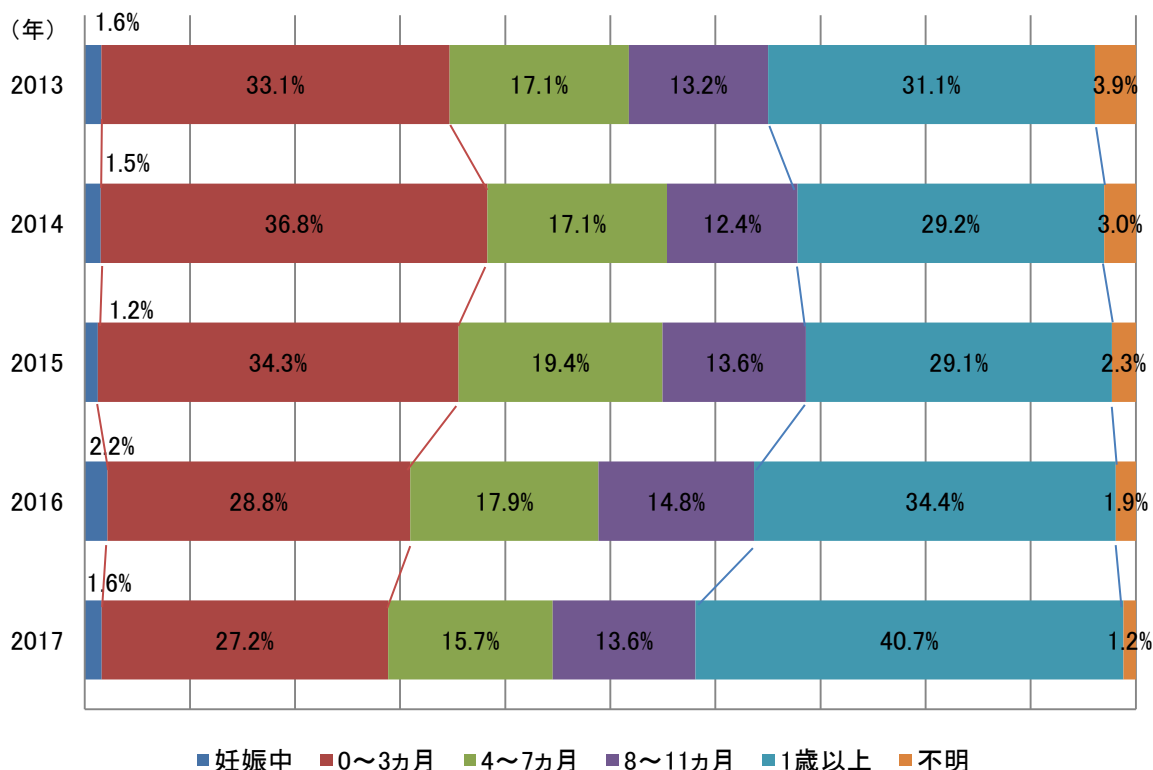
図4 母親の年齢推移(2013年～2017年)



## 増える1歳以上の相談

2016年、これまで一番多かった月齢0～3ヵ月までの低月齢の相談が全体の28.8%となり、一方で1歳以上の構成比が34.4%と増加しました。2017年はこの傾向が進み、月齢0～3ヵ月までの低月齢が27.2%とさらに減少し、1歳以上が40.7%と大幅に増加しました(図5)。

図5 子どもの月齢(年齢)別割合の推移(2013年～2017年)

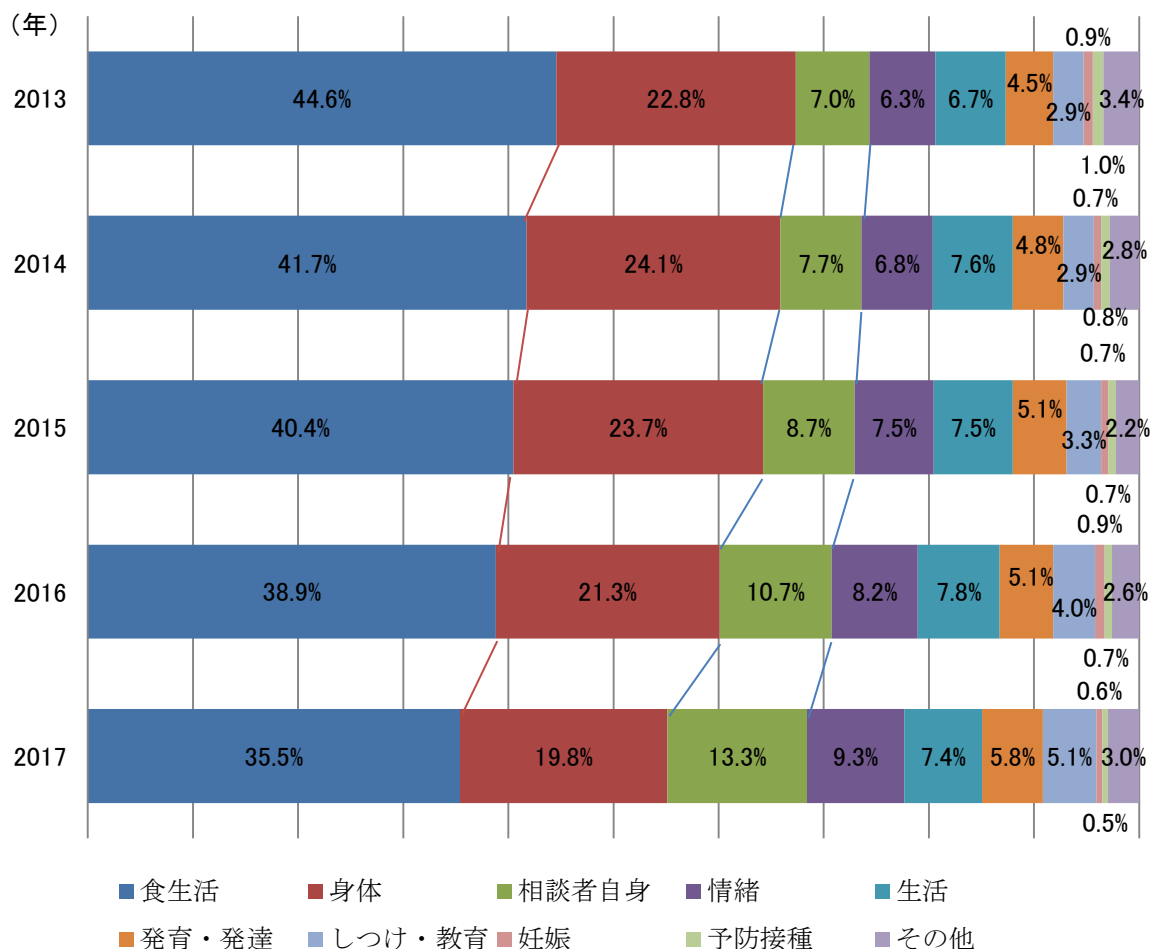


毎日のように「言うことを聞かない。イライラする。そんな自分もいや」という2歳児をもつママの相談が入ります。2歳代は自我が大きく発達する年齢です。すべてにおいて自分優先のため、何事につけても「いや」を連発することから「イヤイヤ期」とも呼ばれています。また「魔の2歳児」という言葉があるほど、ママたちは扱いに困りイライラが募る時期でもあるようです。そんな負の気持ちを吐き出す先として、エンゼル110番に電話をするのでしょう。さらに3歳は、知恵がつき、言葉も達者になったうえに、2歳児と変わらず反抗的な態度を取ることがあります。ママたちには、脳の発達は一様に起こるものではなく、感情をつかさどる部分は先に発達し、ルールを守ったり我慢したりという理性をつかさどる前頭葉は4歳頃に発達すると話すと「もう少し頑張れば変わるんですね」と元気になる方が多いように思います。

### 増える「相談者自身」の相談

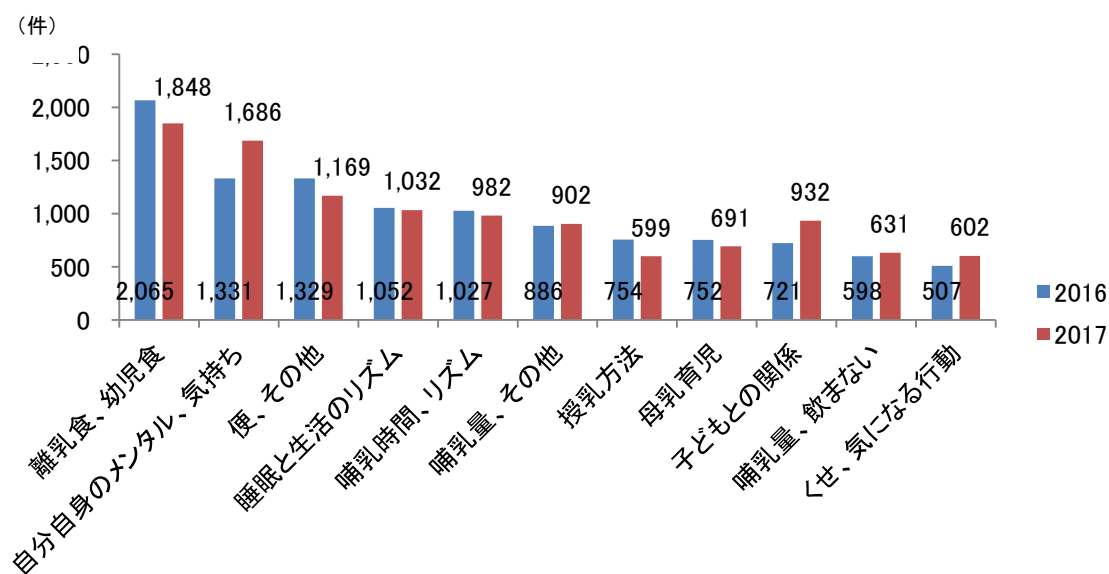
最も多い「食生活」の相談は、全体に占める割合が毎年減少しています。その一方で「相談者自身」「情緒」「しつけ・教育」が増加し、特に「相談者自身」の相談は 13.3%と、全体に占める割合が「食生活」「身体」に次ぎ 3 番目に多くなっています(図 6)。

図 6 相談内容割合の変化(2013 年～2017 年)



2017 年、相談内容の小分類で最も多かったのが「離乳食・幼児食」で 1,848 件、次いで「自分自身のメンタル・気持ち」が 1,686 件、「便・その他」が 1,169 件です。2016 年は、「離乳食・幼児食」が 2,065 件で最も多く、次いで「自分自身のメンタル・気持ち」が 1,331 件、「便・その他」が 1,329 件と順位は変わっていませんが、「離乳食・幼児食」「便・その他」が減少しているのに反して、「自分自身のメンタル・気持ち」は前年比 126.7%となっています(図 7)。この他の調査では「自閉的・多動・学習障害」「自己主張・癩」「集団生活・教育」「排泄のしつけ」など、幼児が対象となる相談が前年比 140%前後と増えました。

図7 相談内容分類上位比較



相談員の間で、「上の子がかわいいと思えないシリーズ」と名付けている相談があります。そのほとんどが、第1子が2～3歳で第2子が0歳という組み合わせです。第1子は赤ちゃん返りをしているのと同時に、第一反抗期に突入します。ママの言うことは聞かない、癩癩を起こす、場合によっては自分の思い通りにいかないとママを叩いたり蹴ったりする子もいて、ママからは「かわいく思えない」という声が多く聞かれます。第2子の子育ても重なって「もう私には育てられない」と訴えることもあります。いわゆる「イヤイヤ期」と呼ばれる年代は、それだけでも付き合うのにエネルギーを要するのですから、さらに赤ちゃん返りが加わって大変だということはわかります。ただ、子ども側してみれば自我の発達と大好きなママへのアピールで、決して悪意を持って行っているわけではありません。エンゼル110番では、そのことを伝えながら、ママの気持ちがほぐれるのを待つようにしています。

## エンゼル110番レポートのバックナンバー

第1号 (93/4月) 『離乳食』	第37号 (02/9月) 『テレビやビデオをどのように見せていますか』
第2号 (93/7月) 『初めての泊まりがけ旅行』	第38号 (03/1月) 『夫の育児参加と妻の満足度 (その2)』
第3号 (93/10月) 『胎教』	第39号 (03/4月) 『子育てにインターネットを活用していますか?』
第4号 (94/1月) 『お年玉』	第40号 (03/7月) 『子育てコストとママの生活満足度』
第5号 (94/5月) 『夫の育児参加と妻の満足度』	第41号 (03/12月) 『ママたちの育児スタート—産後に望む支援サービス—』
第6号 (94/8月) 『妊娠中の食事について』	第42号 (04/4月) 『子育てママの喫煙・禁煙』
第7号 (94/11月) 『育児雑誌を読みますか』	第43号 (04/9月) 『信頼できる育児の情報源とママたちの満足度』
第8号 (95/2月) 『早期教育は必要ですか』	第44号 (04/11月) 『ママたちの産院選びと立会い出産の実態』
第9号 (95/5月) 『赤ちゃんのアレルギー、気になりますか?』	第45号 (05/3月) 『妻の実家・夫の実家、どう付き合っていますか?』
第10号 (95/8月) 『どんな出産をされましたか』	第46号 (05/7月) 『赤ちゃんのアレルギー、気になりますか?』
開設20周年記念冊子 (96/10月) 『60万件の電話相談から』	第47号 (05/11月) 『赤ちゃんをだっこした経験ありましたか?』
第11号 (95/11月) 『子育て費用をどう考えますか』	第48号 (06/4月) 『子育てママの携帯電話活用法』
第12号 (96/2月) 『子どものこと夫婦で話していますか』	第49号 (06/7月) 『子ども連れで初めての泊りがけ旅行』
第13号 (96/10月) 『赤ちゃんをだっこした経験ありましたか』	第50号 (06/11月) 『子どもは何人ほしい?』
第14号 (96/12月) 『理想の父親像と母親像』	第51号 (07/2月) 『子どもに習い事をさせますか?』
第15号 (97/4月) 『子育て中のお母さんの自由時間』	第52号 (07/8月) 『「3歳児神話」をしていますか?』
第16号 (97/6月) 『子どもを預けたことはありますか』	第53号 (08/1月) 『子どもを預けたことはありますか? (その2)』
第17号 (97/9月) 『子育て中のストレス解消法』	第54号 (08/4月) 『「お母さんになった」など初めて感じたのは?』
第18号 (97/12月) 『かかりつけのお医者選び』	第55号 (08/9月) 『結婚前の料理経験はどれくらいですか?』
第19号 (98/4月) 『“格好いいお母さん” が当たり前?』	第56号 (09/1月) 『ここが困った! 子連れ外出事情』
第20号 (98/6月) 『35歳からの子育て』	第57号 (09/5月) 『不況に負けない! ママの明るい節約術』
第21号 (98/9月) 『これからはママもパソコン使います』	第58号 (09/9月) 『孫育て』
第22号 (98/12月) 『35歳からの子育て パートII』	第59号 (09/11月) 『ママ友とおつきあい、どうしてますか?』
第23号 (99/3月) 『実家とどうつきあっていますか』	第60号 (10/5月) 『夕飯の献立どうやって考えていますか?』
第24号 (99/6月) 『子どものアレルギーについて』	第61号 (10/8月) 『子育て支援で、本当にしてほしいことは?』
第25号 (99/9月) 『子ども連れのお母さんが見た街作り』	第62号 (10/11月) 『パパはイクメンですか?』
第26号 (99/12月) 『子育てが楽しいと感じる時』	第63号 (11/2月) 『35年で変わったこと、変わらなかったこと』
第27号 (2000/3月) 『離乳食は得意ですか』	第64号 (11/5月) 『育児日記をつけていますか?』
第28号 (00/6月) 『子育て仲間はどこで見つけましたか?』	第65号 (11/9月) 『ママたちの節電対策』
第29号 (00/9月) 『子連れで海外旅行に行きましたか?』	第66号 (12/1月) 『今、大切にしたいもの』
開設25周年記念冊子 (00/10月) 『医療関係者向アドバイスブック』	第67号 (12/6月) 『育児で心配になったきっかけとその解決方法』
第30号 (00/12月) 『私たちのミレニアム・ベビー』	第68号 (12/11月) 『子育てママのお正月』
第31号 (01/3月) 『ママたちのIT革命』	第69号 (13/3月) 『名づけ』
第32号 (01/6月) 『子どもが生まれて夫婦関係が変わりましたか?』	第70号 (14/5月) 『赤ちゃんを抱っこしたことはありましたか?』
第33号 (01/9月) 『妊娠してからの食生活の変化』	第71号 (14/12月) 『母乳への意識』
第34号 (01/12月) 『絵本の読み聞かせをしていますか』	第72号 (15/4月) 『現代のママ事情』
第35号 (02/3月) 『育児日記をつけてますか』	第73号 (15/7月) 『「食べない子」「食べすぎる子」のママの悩み』
第36号 (02/6月) 『ママたちの再就職事情』	第74号 (15/9月) 『子育てしやすい街の条件』



## エンゼル110番レポートのバックナンバー

第75号（15/11月）『働くママの気持ちと職場の理解』

第78号（17/7月）『なぜ、今「電話相談」なのか』

第76号（16/6月）『ママたちが活用しているアプリは？』

第79号（17/11月）『ママ達のストレスとその解消法』

第77号（17/1月）『結婚前の料理経験はどのくらいですか？』